

厳しいが最高

経済学部経済学科 山本昇汰
(報徳学園高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

弓道部に所属し、部内では良好な結果を残すことはできていた一方で、公式大会などでは緊張のあまりミスを連発し結果を残すことが出来ませんでした。勉強面では、努力の仕方がわからず鳴かず飛ばずの成績で悩んでいました。振り返ってみると、努力の量が足りないことにくわえ、その方向性にも問題があったように感じます。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大学入学直後のコース説明会で、コースを率いる大谷先生の情熱的かつ論理的な説明を聞き、とても前向きな気持ちになれたことを昨日のことのよう覚えています。不甲斐ない自身を変えることのできるラストチャンスであると感じ、参加を決意しました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

厳しい面はあると思います。普段の礼儀・マナー・規律はもちろんのこと学問的にも要求されるレベルが高いため、常に努力が求められます。例えば、「一度注意されたことは二度と繰り返してはならない」とよく注意されるのですが、しっかりとその意味を理解する必要があります。文字通りの意味があるのはもちろんです。しかし、以下のような意味も含まれます。例えば、あなたの学友が何らかのミスで注意されたとします。その後、あなたが同じミスをやったとしましょう。この場合、ミスを繰り返していると判断されます。空気を読んで相手の意図を正確にくみ取った上での行動が常に求められます。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？向いていないタイプは？

前者ですが、物事の本質を捉えそれを端的に説明できる人だと思います。本質的でない議論に時間をかけることは、生産的ではないためです。上級キャリアコース(以下、上キャリ)で“エース級”と呼ばれる学生はこの種の能力・資質に秀でています。

後者ですが、努力を継続できない人です。上キャリで生き残るためには、このHPに書いてあることをしっかりと理解し実行することはもちろんのこと、それを4年間継続しなければなりません。できないのなら、上キャリに参加すべきではありません。

5. 上級キャリアコースの強みは？

高い志を持ったメンバーと一丸となり、学業や就活という目標に向かって邁進できることです。上キャリの厳しさは上で述べたとおりですが、結果としてコース内には意識が高く行動力に富んだメンバーだけが所属することになります。そしてこのことが、メンバーの多

く(全員?)が指摘するように、大学生活を非常に有意義なものにするのです。コースでの4年間は本当にハードでした。でも、彼らと一緒にいたからこそやり遂げることができたのです。つらい時もたくさんありましたが、お互いに助け合い、励ましあいながら困難に打ち克つことができました。つまり、本当の意味で切磋琢磨することができました。素敵な仲間と出会える場、それが上キャリです。